



内閣府（防災担当）

## 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会（第13回） 議事概要について

### 1. 検討会の概要

日時：平成31年2月26日（火） 15:00～16:20

場所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：佐竹座長、谷岡委員、平川委員、平田委員、古村委員、松澤委員、翠川委員、  
三宅委員

### 2. 議事概要

事務局から検討状況の説明を行い、千島海溝で想定される最大クラスの津波の設定について審議を行い、以下について了承された。

- モデルの検討において、すべての津波堆積物のデータを用いると、低い津波高のデータの影響で、高い津波高や広い浸水範囲の記録を再現できなくなってしまうため、防災上の観点から、高い津波高のデータのみを用いてモデルを検討する。
- 陸側に近い領域が大きくすべるモデルと海溝軸付近が大きくすべるモデルについて、津波堆積物の再現性に有意な違いはないが、津波堆積物が発見されていないため、どちらのモデルがより適切か評価できない地域に対して高い津波を与える後者のモデルを、防災上の観点から、今後の防災対策の検討に用いるモデルとする。
- この際、根室半島より東側では津波堆積物のデータが十分でないことから、津波堆積物から適切にすべり量を求めることが難しいため、根室沖のすべり量を外挿して、根室半島より東側のすべり量とする。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

調査・企画担当企画官 高橋 伸輔

同参事官補佐 岩村 公太

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-6820